学校番号	T3015

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）一般英語	2	第２学年～ 第４学年	自主教材

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英文法と英単語を学習することとともに、学習した内容を用いて積極的に課題に取り組みましょう。
・英語学習の習慣を身に付け、提出物などをしっかりと提出しましょう。
・自分の意見を積極的に発表するなど、コミュニケーションを図る努力をしましょう

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２～４学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくりと発音された英語での簡単な会話表現を理解し、単語や意味のまとまりを理解することができる。	簡単な表現を用いて書かれた文章や説明文などを場面などを参考にして理解することができる。 わからない英単語や表現などを場面や文脈を通して推測することができる。	単元ごとに設定されている表現を適切に用いて、簡単な会話を行うことができる。 質問に対して、簡単な英語を用いて返答することができる。	単元ごとに設定されている表現を適切に用いて、英語で自分の意見などを発表することができる。 発表に対して、簡単な英語を用いて意見などを申し出ることができる。	聞いたり読んだりした内容について、簡単な表現を用いて自分の気持ちや意見などを書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	単元ごとに学ぶ表現の形・意味・用法を理解し、それらを適切に運用し、自分の考えや意見などを表現する基本的な技能を身に付けている。	場面や状況、相手の立場などを理解し、適切な表現を用いて自分の考えや意見をわかりやすく表現して伝えることができる。	自身の活動を振り返りながら適切な表現を用いて、自身の考えを整理し相手にわかりやすく表現して伝えようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	英語で自己紹介	聞くこと	a: be 動詞の用法を理解し、表現する技能を身に付けている。	課題の提出
		話すこと (やりとり)	b: be 動詞を的確に用いながら相手に伝わりやすいように適切な表現で自分の考えや意見などを表現している。	授業での取り組み
			c: be 動詞を的確に用いながら相手に伝わりやすいように適切な表現で自分の考えや意見などを表現しようとしている。	授業での取り組み
	want をつかって表現してみよう	書くこと	a: want to / want to be の用法を理解し、自分のしたいことやなりたいものを表現する基本的な技能を身に付けている。	課題の提出
		話すこと (発表)	b: 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて自分のしたいことやなりたいものを表現することで自分の考えや気持ちなどを表現している。	授業での取り組み
			c: 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて自分のしたいことやなりたいものを表現することで自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	授業での取り組み
	場所の聞き方と答え方を聞こう	読むこと	a: 場所を表す英単語、場所を聞く・答えるときの用法を理解し、道案内を英語でする技能を身に付けている。	課題の提出
		話すこと (やりとり)	b: 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて場所を尋ねたり答えたりする表現することで自分の考えや気持ちなどを表現している。	授業での取り組み
			c: 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて場所を尋ねたり答えたりする表現することで自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	授業での取り組み
	中間考査			
	can でできることを伝えよう	書くこと	a: 助動詞 can の能力の用法を理解し、自分のできることなどを英語で表現する技能を身に付けている。	課題の提出
		話すこと (やりとり)	b: 自己紹介の内容など、自分のできることを表現することで内容に深みをもたせ、やり取りの糸口にしている。	授業での取り組み
			c: 自己紹介の内容など、自分のできることを表現することで内容に深みをもたせ、やり取りの糸口にしようとしている。	授業での取り組み
	Can you~?で依頼をしてみよう	書くこと	a: 助動詞 can を用いた Can you~?の用法を理解し、やってほしいことなどを英語で相手に依頼したりする技能を身に付けている。	課題の提出
		話すこと (やりとり)	b: 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて相手に物事を依頼したり、お願いすることで自分の考えや気持ちなどを表現している。	ロールプレイング
			c: 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて相手に物事を依頼したり、お願いすることで自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	ロールプレイング
	Can I～？で注文をしてみよう	聞くこと	a: 助動詞 can を用いた Can I~?の用法を理解し、レストランやファストフード店などで自分の欲しいもの、相手の欲しいものを聞き取り、伝える技能を身に付けている。	課題の提出
		話すこと (やりとり)	b: 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて自分の注文したいものややりたいことなどを表現している。	ロールプレイング
			c: 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて自分の注文したいものややりたいことなどを表現しようとしている。	ロールプレイング
	期末考査			
後期	英語での相づちを学ぼう	読むこと 聞くこと	a: 相づちの表現を理解し、相手の立場や状況、会話の内容を聞き取りながら、適切な場面で使用できる技能を身に付けている。	課題の提出
		話すこと (やり取り)	b: 相づちを適切に用いて、相手の目的・立場・状況を考えながら、適切に自分の考えや気持ち、情報などを伝えている。	授業での取り組み
		話すこと (やり取り)	c: 相づちを適切に用いて、相手の目的・立場・状況を考えながら、適切に自分の考えや気持ち、情報などを伝えようとしている。	授業での取り組み
	英語で買い物をしてみよう	話すこと (やりとり)	a: 外国で買い物をする際に用いる疑問詞や過去形、助動詞 can などを適切に理解するとともに、それらを適切に用いて正確に伝える技能を身に付けている。	課題の提出

			b: 状況や場面に応じて、適切な表現を用いて値段を聞いたり、試着を頼んだり、また、質問に対して正確に返答することなどを通して自分の考えや気持ちなどを表現している。	ロールプレイング
			c: 状況や場面に応じて、適切な表現を用いて値段を聞いたり、試着を頼んだりして自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	ロールプレイング
	中間考査			
	宿泊の予約をしてみよう	話すこと(やりとり)	a: 外国で宿泊の予約をする際に用いる疑問詞や助動詞 will, can などを理解するとともに、それらを適切に用いて正確に伝える技能を身に付けている。	課題の提出
			b: 状況や場面に応じて、適切な表現を用いて人数を言ったり、日程を言ったり、また、質問に対して正確に返答することなどを通して自分の考えや気持ちなどを表現している。	ロールプレイング
			c: 状況や場面に応じて、適切な表現を用いて人数を言ったり、日程を言ったり、また、質問に対して正確に返答することなどを通して自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	ロールプレイング
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度